

文部科学省：「学校・家庭・地域連携協力推進事業費」補助事業

社会総がかりで取り組む教育の推進Ⅳ

～平成26年度 学校・家庭・地域連携推進事業 実践事例集～



愛媛県教育委員会

は じ め に

超少子高齢化、人口減少問題、家族形態の多様化等、子どもたちを取り巻く社会環境の変化は、幼小中学校の小規模化やひとり親・共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化等の様々な地域の教育課題を招くとともに、学校教育においても不登校やいじめ問題等の複雑・困難化に加え、多様化する教育内容等への対応が課題となっています。

そのため、今まで以上に学校・家庭・地域が連携協力を図り、社会総がかりで取り組む教育の必要性を共通の認識としながら、地域の教育課題を共有し、地域ぐるみで子どもの豊かな学びと成長を育む教育支援体制づくりの推進に取り組むことが一層重要になっています。

愛媛県教育委員会では、教育基本方針の第1に「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ、各種施策に取り組んでまいりました。その中でも、学校・家庭・地域連携推進事業において、事業関係者研修会を開催し、資質向上を図るとともに、「第2回愛媛の保護者と教師の集い」を開催することにより、社会総がかりで取り組む教育の重要性の普及啓発に努めてまいりました。

また、各市町事業においては、地域の教育課題や状況に応じて「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」の3つの教育支援活動を有機的に組み合わせて実施するとともに、各教育支援活動の拠点数や協力者数等を着実に増やし、地域の社会教育基盤を醸成する要の事業として充実が図られてまいりました。

本実践事例集は、これら学校・家庭・地域の連携推進に係る取組みをまとめたものです。関係者各位に御高覧いただき、今後の教育支援活動の充実・発展に役立てていただければありがたく存じます。

終わりにになりましたが、本冊子の作成にあたり、御指導・御協力をいただきました愛媛県学校・家庭・地域連携推進協議会の委員の皆様をはじめ、各市町教育委員会、関係機関の皆様方に、心より御礼申し上げます。

平成27年3月

愛媛県教育委員会生涯学習課長
越智 孝

も く じ

はじめに

I	事業概要	
1	事業の全体像	4
2	愛媛県学校・家庭・地域連携推進協議会	6
II	県事業	
1	研修会の開催	8
III	市町事業	
	○平成26年度学校・家庭・地域連携推進事業 実施市町一覧	10
	【学校支援地域本部】	
	○宇和島市	12
	○新居浜市	13
	○四国中央市	14
	○久万高原町	15
	○伊方町	16
	○松野町	17
	○鬼北町	18
	○愛南町	19
	【放課後子ども教室】	
	○今治市	22
	○宇和島市	23
	○新居浜市	24
	○西条市	25
	○大洲市	26
	○伊予市	27
	○四国中央市	28
	○西予市	29
	○東温市	30
	○久万高原町	31
	○松前町	32
	○内子町	33
	○愛南町	34
	【家庭教育支援】	
	○今治市	36
	○宇和島市	37
	○八幡浜市	38
	○西条市	39
	○大洲市	40
	○伊予市	41
	○四国中央市	42
	○西予市	43
	○久万高原町	44
	○愛南町	45
	《参考：放課後児童クラブ一覧》	48

I 事 業 概 要

1 趣旨

子どもを取り巻く環境の変化や、家庭や地域の教育力の低下が指摘される中、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、引き続き学校・家庭・地域が連携して教育に取り組む体制づくりを目指す必要がある。

そこで、地域住民等の参画による「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」について、各地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて実施することにより、より充実した教育支援活動を支援する。

2 事業の概要

(1) 県事業

ア 「学校・家庭・地域連携推進協議会」の設置

(ア) 主な役割

- 事業のあり方・成果等についての検証・評価
- 総合的な教育支援活動のあり方の検討 等

(イ) 人数

14名（学識経験者、福祉関係者、学校教育関係者、社会教育関係者等）

(ウ) 開催回数：3回

イ 研修会の開催

(ア) 第2回「愛媛の保護者と教師の集い」兼 合同研修会 の開催

○ 目的

県内の本事業関係者が一堂に会し、学校・家庭・地域の連携推進に係る成果と課題を検討する。

○ 開催回数：1回（松山市）

○ 内容：講演、分科会 等

(イ) 事業別研修会の開催

○ 目的：各事業それぞれの関係者の資質向上、情報交換等を図る。

○ 開催回数

各1回（学校支援地域本部、放課後子ども教室、家庭教育支援）

○ 内容：講義、事例研究、ワークショップ 等

ウ 普及啓発活動

(ア) 目的

実施市町の優れた活動事例をまとめた事例集を作成・配布し、本事業の意義及び効果的な手法等についての波及を図ることにより、家庭教育を支えながら社会全体で子どもの健全育成を図っていく体制づくりについて普及啓発を行う。

(イ) 事例集の作成・配布

○ 内容：実施市町の優れた取組事例の紹介

○ 作成部数：1,500部

○ 配布先：市町教育委員会、事業関係者 等

○ ホームページで公開

(2) 市町補助事業

各市町に、運営委員会を設置し、コーディネーター等の配置、活動内容・運営方法の検討、支援活動の実施を行う。

ア 活動内容・運営方法の検討

各地域の実情に応じた取組内容や事業の運営方法の検討等を行う。

イ 人材の配置

- コーディネーター
各事業の企画運営の中心となって、学校や地域、地域の団体等との総合的な調整等を行う。
- 教育活動推進員
学習支援・体験・交流活動等のプログラムを中心的に実施する。
- 家庭教育支援員
家庭教育に関する学習プログラムの中心的な企画・実施や保護者への相談対応等を行う。
- 教育活動サポーター
プログラム実施のサポートや子どもたちの安全を管理する。

ウ 支援活動の実施

(ア) 学校支援地域本部

地域住民がボランティアとして学校の教育活動を支援する。

- 主な活動内容
 - ・ 学習支援活動（授業補助）
 - ・ その他の教育活動（学校行事補助、放課後学習指導、部活動補助）
 - ・ 環境整備活動（図書整理、花壇整備、植木の剪定、校内環境整備）
 - ・ 安全支援活動（登下校指導、安全指導、校内外の見回り）
 - ・ その他の活動（読み聞かせ、遊び）

(イ) 放課後子ども教室

すべての子どもを対象に、安全安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の参画を得て、学習活動やスポーツ活動等の活動を提供する。

- 主な活動内容
 - ・ 放課後等の学習指導
 - ・ 自然体験活動支援
 - ・ 文化活動支援

※放課後児童クラブと連携して「放課後子ども総合プラン」として実施する。

(ウ) 家庭教育支援

保護者への学習機会や情報の提供、相談体制の構築等を行い、身近な地域における家庭教育支援の基盤を整備する。

- 主な活動内容
 - ・ 家庭教育支援チームによる相談や支援
 - ・ 保護者への学習機会の提供
 - ・ 親子参加行事への支援

2

愛媛県学校・家庭・地域連携推進協議会

1 概要

(1) 目的

学校・家庭・地域連携推進事業を、円滑かつ効果的に実施するとともに、地域の教育支援に関する施策のあり方や成果等について検証・評価等を行う。

(2) 委員構成

学識経験者、福祉関係者、学校教育関係者、社会教育関係者 等

(3) 業務

- 学校支援地域本部及び家庭教育支援のあり方・成果についての検証・評価
- 「放課後子ども総合プラン」の実施方針、安全管理及び広報活動方策の策定
- 総合的な教育支援活動のあり方の検討 等

2 平成 26 年度委員名簿

	氏名	職名
会長	金本 房夫	愛媛県市町教育委員会連合会会長
副会長	杉原美由紀	愛媛県 P T A 連合会副会長
委員	平松 義樹	愛媛大学教育学部附属教育実践総合センター教授
	山田 誠	愛媛大学教育学部准教授
	森藤 裕子	宇和島市三間中学校区学校支援地域本部コーディネーター
	安岡 史朗	松山南高等学校砥部分校土曜教育コーディネーター
	伊東 道子	愛媛県保育協議会会長
	樋口 志保	愛媛県学童保育連絡協議会会長
	砂田 宏司	愛媛県公民館連合会副会長
	片野美穂子	愛媛県国公立幼稚園 P T A 連合会事務局長
	垂水 勉	愛媛県小中学校長会委員
	山本由美子	NPO 法人「子育てネットワークえひめ」代表
	岩本 透	愛媛県経済同友会経営戦略委員長
	浅見 和美	公募委員

3 会議の主な内容

回数・実施日	会場	主な協議内容
第 1 回 H26. 7. 29 (火)	にぎたつ会館	○事業の概要について ○本年度の取組みについて
第 2 回 H26. 11. 28 (金)	愛媛文教会館	○平成 26 年度事業実施状況報告 ○実践事例発表
第 3 回 H27. 3. 13 (金)	にぎたつ会館	○平成 26 年度事業実施報告 ○平成 27 年度事業について

Ⅱ 県 事 業

1 目的

「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」に係るスタッフ及び市町教育委員会・学校等の関係者に対し、事例研究や講演等を通して研修を実施し、事業の趣旨・内容について理解を深めるとともに、効果的な取組みの在り方について研究を行い、各地域の実践に生かす。

2 内容

(1) 第2回「愛媛の保護者と教師の集い」(兼第1回合同研修会)

ア 日 時

平成26年8月8日(金) 13:00～16:20

イ 場 所

松山市総合コミュニティセンター

ウ 研修内容

- ① 基調講演 講師 梶田 叡一先生(奈良学園大学学長・人間教育研究協議会代表)
演題 「真の『生きる力』を育てるために
ー<われわれの世界>と<われの世界>とー」

② 分科会

番	分科会テーマ ※()内は参加者数 発 表 題	発表者	助言者
1	【いじめ問題】 いじめのない子どもたちの豊かな人間関係をどうやって築くか (約100名)		
	いじめのない、よりよい人間関係づくりを目指して ～Q -Uの活用を通して～	東温市立南吉井小学校 教 諭 久保 敬寛	愛媛大学教育学部 教授 太田 佳光
	いじめの未然防止に向けた取組	愛南町立御荘中学校 主幹教諭 加洲 景	
2	【学力向上】 「生きる力」を支える子どもたちの確かな学力をどのようにして向上させるか (約130名)		
	保護者の方にもぜひお伝えしたい！学力向上	松山市立石井北小学校 主幹教諭 高月 知代	愛媛県教育委員会 義務教育課 主幹 田坂 文明
	学力向上システム構築事業に基づく本校の取組～主に平成24・25年度の取組～	大洲市立肱東中学校 教 諭 築山 恵司	
個性を生かし、主体的に進路を選択する能力を育てるキャリア教育	愛媛県立松山南高等学校 教 諭 谷口みち佳		
3	【キャリア教育推進】 子どもたちの社会的・職業的自立に向けた能力や態度をどのように育てるか (約80名)		
	将来を見据えた、優しくたくましい生徒の育成～職場体験 学習を通して～	四国中央市立川之江北中学校 教 諭 續木 徹	愛媛県総合教育 センター 指導主事 渡邊 俊
	地域産業と連携した工業技術者の育成～「高校生地域産業 担い手育成事業」での取組を通して～	愛媛県立新居浜工業高等学校 教 諭 岡田 慎一	
ANAのキャリア教育への取組	全日本空輸株式会社松山支店 支店長 山村 宗		

【学校・家庭・地域連携】 地域社会全体で子どもたちを育てる体制づくりをどのように進めるか（約120名）			
4	三間中学校区学校支援地域本部事業の取組	三間中学校区学校支援地域本部 コーディネーター 森藤 裕子	愛媛大学 名誉教授 讃岐 幸治
	垣生公民館の学校支援	新居浜市垣生公民館 館長 岡部 益夫	
【家庭教育】 保護者と子どもを支え育む家庭教育支援の体制づくりをどのように進めるか（約70名）			
5	学校・家庭・地域がつながる家庭教育支援をめざして	大洲子育てサポート 「そよ風」スタッフ 吉見 和子 池本 春美	文部科学省生涯学 習政策局男女共同 参画学習課 室長補佐 塚田 昌毅
	おやじ「佐川 良」という男	愛媛のおやじ井戸端会議 会 長 佐川 良	
【有害情報対策】 ネット依存・ネットいじめ等の被害から、子どもたちをいかにして守るか（約160名）			
6	幼稚園児・保護者とスマートフォン等のかかわりについて	愛媛県国公立幼稚園PTA連合会 会 長 清水 義郎	神戸大学大学院 教授 森井 昌克
	スマートフォン・SNS時代の子育てを考える	松山市小中学校PTA連合会 会 長 泉宗 義宏	

(2) 事業別研修会

対象事業名 実施予定日	会場	主な研修内容
学校支援地域本部 H26.12.16(水)	にぎたつ会館 ※参加者数 59名	○講演・講師 竹原 和泉 (横浜市東山田中学校コミュニティハウス館長) 中村謙太郎 (八代市立第四中学校区学校支援地域本部コーディネーター) ○インタビューダイアログ ○グループ討議
家庭教育支援 H27.1.15(木)	にぎたつ会館 ※参加者数 80名	○講演・講師 菊池 まり (千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」代表) ○グループ協議・全体協議
放課後子ども教室 (放課後子ども総合 プラン指導者研修会) H27.2.11(水)	愛媛県武道館 ※参加者数 235名	○行政説明 ○実践事例発表 ○講義・講師 岩崎 由純 (一般財団法人日本ペップトーク普及協会代表理事)

Ⅲ 市 町 事 業

○ 平成 26 年度学校・家庭・地域連携推進事業 実施市町一覧

	学校支援地域本部 (本部数)	放課後子ども教室 (教室数)	家庭教育支援 (チーム数)
今治市		○ (2)	○ (0)
宇和島市	○ (1)	○ (11)	○ (1)
八幡浜市			○ (0)
新居浜市	○ (14)	○ (10)	
西条市		○ (10)	○ (0)
大洲市		○ (2)	○ (1)
伊予市		○ (1)	○ (1)
四国中央市	○ (6)	○ (4)	○ (1)
西予市		○ (1)	○ (1)
東温市		○ (2)	
久万高原町	○ (2)	○ (1)	○ (1)
松前町		○ (3)	
内子町		○ (1)	
伊方町	○ (1)		
松野町	○ (1)		
鬼北町	○ (1)		
愛南町	○ (5)	○ (1)	○ (1)
実施市町数 計	8 (31)	13 (49)	10 (7)
<small>(本部・教室・チーム数 計)</small>			

※中核市の松山市を除く

学校支援地域本部



環境整備奉仕作業。(赤十字奉仕団の方といっしょに、手つなぎボランティアとして、通学路の清掃活動)の様子

(松野町松野中学校区学校支援地域本部)

三間中学校区学校支援地域本部【宇和島市】

～できる人が、できる時に、できることから～

◆活動の目的・理念

- 教職員の負担軽減
- 地域教育力の向上
- 子どもたちの健やかな成長を願う住民意識の高まり

学校支援本部の取組概要

<地域コーディネーターの活動>

- 毎月の学校支援ボランティアに関する学校とボランティアとの連絡調整
- ボランティア活動実施に関する関係書類の収集及び行政担当者との連絡調整
- 広報活動及び新規ボランティアの発掘

<主なボランティア活動の内容>

- 学習支援の取組
 - ★読み聞かせの活動
各小学校の朝活動において、学校支援ボランティアによる「読み聞かせ」を実施。読書離れが進む子どもたちにとって、本に触れる機会を増やし、本の楽しさを知る機会となっている。
 - ★音楽指導
地元の退職教員にお願いし、連合音楽会に向けた合奏・合唱の指導を実施。教職員とボランティアが連携し、きめ細かな指導が行われている。
 - ★稲作指導
三間町は県下でも屈指の米どころとして知られている。地元の産業を学習する上でボランティアの協力は欠かせない。「代掻き・田植え・稲刈り」までの一連の作業を数ヶ月に渡りボランティアの指導を仰ぎながら行っている。
また、収穫祭にはお世話になった方々を招き、交流を深めている。
- 環境整備活動
樹木の剪定等の学校の環境整備は、少ない教職員では対応出来ないため、定期的にボランティアにお願いし剪定・草刈の作業をお願いしている。また、春先には樹木の消毒なども行っていただいた。

<特色ある活動>



環境整備(成妙小学校)



ペタンク体験(三間小学校)



稲刈り指導(二名小学校)

事業を実施して

【成果】

- 支援ボランティアの組織化による、継続的な支援活動の実現。
- 支援ボランティアが学校現場に入ることによる、児童・教職員と地域のつながりの強化。
- 社会貢献をしたという実感による支援ボランティアの喜びや充実感。

【課題】

- 活動の組織化から7年が経過するが、すべての住民に認知されているとは言い難い。今後あらゆる手段で周知を図っていきたい。
- 環境整備活動などにOB・OGが参加することで、母校のために行う支援を通して郷土を愛する意識を向上させていきたい。

神郷小学校区学校支援地域本部 【新居浜市】

～地域で育てよう 未来を担う神郷の子どもたち～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が一体となり、ふるさと神郷への誇りと愛着を持つ子どもを育てる。
- 子どもたちが安心して楽しく学校生活が送れるように環境を整える。

学校支援本部の取組概要

<地域コーディネーターの活動>

- ボランティア活動計画の立案・広報活動及び新規ボランティアの発掘
- 毎月の学校支援ボランティアに関する連絡調整

<主なボランティア活動の内容>

- 見守り活動 毎日の登下校時の見守り活動とあいさつ運動・交通安全の啓蒙
- 環境整備 除草や剪定・ゴーヤカーテン作り等校内環境整備協力
- 学習支援 情緒豊かな子どもを育成し、地域住民と触れ合う機会作りを目的に毎週1回低学年全クラス対象の地域ボランティアによる読み聞かせ
- 体験学習指導 日本の伝統文化の継承を目的に、しめ縄作りや昔の遊び(けんだま・コマ回し・お手玉等)指導
郷土を愛する心を育むことを目的に、神郷で生まれた「神郷史情」の踊りの指導

<特色ある活動>



読み聞かせ活動



体験学習(しめ縄作り)



体験学習(昔の遊び)

事業を実施して

【成果】

- 地域の方が子ども達と活動することにやりがいを感じ積極的に参加してくれるようになった。
- 見守り活動や読み聞かせ等で子ども達と地域住民が触れ合う機会が増え、子どもから活発な挨拶や声かけができるようになった。

【課題】

- ボランティア人材育成
- 保護者への働きかけ

土居小学校区学校支援地域本部 【四国中央市】

～地域で学校を応援しよう～

◆活動の目的・理念

- 地域を愛し、地域を誇りに思う心を育てる。
- 地域の方々とのかかわりや様々な体験を通して、多様な考え方や生き方を学ぶ。
- 子どもたちにとって、安全・安心な環境をつくる。

学校支援本部の取組概要

<地域コーディネーターの活動>

- 学校とボランティアをつなぐ。
- ボランティアとの連絡調整。

<主なボランティア活動の内容>

●ブックトーク・読み聞かせ活動

毎月1回、土居図書館の方が1～3年生を対象に、教室等でブックトークを実施しています。また、保護者等による読み聞かせを、毎月2回程度行っています。

●環境整備活動

老人クラブや公民館、PTA等が協力して、校内の樹木剪定を行っています。

●体験学習活動

1～2年生は生活科の学習で昔の遊び体験を、3年生は社会科における地域の学習として里芋の収穫体験を、6年生はしめ縄作り体験を行っています。

●登下校安全指導

保護者や地域の見守り隊の方が中心となって、児童の登下校に付き添ったり、その様子を見守ったりして、不審者や交通事故等から児童を守る活動をしています。



ブックトークの様子



しめ縄作りの様子

<特色ある活動>

「土居小の松を守る会」による樹木消毒

土居公民館長さんを会長とした「土居小の松を守る会」のみなさんが中心となって、松等の樹木を美しく保つために、年2回の樹木消毒や剪定作業を行っています。



校内の樹木消毒の様子

事業を実施して

【成果】

- 様々な体験学習や交流活動等によって、子どもたちと保護者や地域の方々とのつながりが強くなり、地域を大切に思う心が、少しずつ育っている。
- 保護者や地域の方々の積極的な協力によって、環境整備や見守り活動が充実し、子どもたちにとって、安全・安心な環境ができつつある。

【課題】

- 月に1回でも、全学級で、読み聞かせ活動が実施できるように、保護者等に積極的に呼び掛けて、読み聞かせボランティアを増やしたい。
- できれば、教科等の授業のサポートができる地域の人材発掘にも、積極的に取り組んでいきたい。

父二峰小学校区学校支援地域本部【久万高原町】

～地域のチカラで子どもを育てる～

◆活動の目的・理念

- 少子高齢化による児童数の減少の中で、学校だけでなく地域の教育力を最大限に生かし、学校ににぎわいを取り戻し、子どもたちに自信と誇りを育み、活力のある学校を構築する。
- 学校を核とするふるさとづくり、地域コミュニティの拠点となる学校づくりに努める。

学校支援本部の取組概要

<地域コーディネーターの活動>

- 運動会など地域と一体となった学校行事を行う際に、参加の呼びかけや行事の準備、運営の中心的な役割を果たす。
- 放課後遊びの学校の企画・運営を行う。
- 学習支援ボランティアの発掘、学校との調整を行う。



地域の方と会食

<主なボランティア活動の内容>

- 登下校の安全確保
児童の集団登校で、ボランティアの方が児童について歩き、児童の安全確保を図っている。この取組は10年以上も続いている。
- 体験活動の支援
米作りでは、水田を借用し、地域の専門家の方に年間を通して栽培の指導を受ける。収穫の際には地域の方々の協力のもと行う。
- 多様な体験の場の設定「放課後遊びの学校」
年6回、水曜日の放課後に地域コーディネーターが企画し、七夕かざりや木工作品などのものづくりやディスコンなどのゲームを通した高齢者の方との交流活動を行っている。

<特色ある活動>

- しめ縄・門松づくりとどんど焼き
12月下旬、地域の有志の協力によりしめ縄づくり講習と門松製作を行った。児童は講習を受けながら、家庭に持ち帰るしめ縄を作った。また、玄関前に高さ6mの一对の門松が飾られた。年配の方と子どもたちが協力して、正月を迎える準備を行った。
1月上旬には、地域の各家庭で使われたしめ縄を持ち寄り、どんど焼きを実施した。地域コーディネーターと保護者で準備した雑煮やあん餅を食べ、地域の交流を図った。
- 放課後遊びの学校
第2回放課後遊びの学校では、児童たちは、地域の老人会の方々と「ディスコン」を楽しんだ。ゲームを通した高齢者の方との交流活動を図りながら、運動をすることの大切さを身をもって体験した。



しめ縄・門松づくりとどんど焼き



放課後遊びの学校

事業を実施して

【成果】

- 多様な人とかわり合うことにより、本校児童の課題である伝え合う力を育むことができた。また、ゲストティーチャーの参画により、学習がより深まった。

【課題】

- 地域コーディネーターの育成・引き継ぎ
- より教育的効果を高めるための行事の見直し

三崎中学校区学校支援地域本部【伊方町】

～地域ぐるみで三崎の子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が手を取り合って、地域の宝である子どもたちを育てていく。

学校支援本部の取組概要

<地域コーディネーターの活動>

- 学校支援ボランティアの募集
- ボランティア活動計画の立案
- 学校支援ボランティアの派遣(人材確保及び連絡調整)

<主なボランティア活動の内容>

- 学習支援への取組
生活科や、総合的な学習の時間の体験活動支援、家庭科の調理実習補助、読み聞かせなどを実施。
- 登下校の安全確保
子どもたちの登校時間に合わせて街角に立ち、安全確保と声かけ運動を実施。
- 校内環境整備への協力
樹木の消毒・剪定、運動場の草引きなどの実施。



あいさつ、交通指導



読み聞かせ

<特色ある活動>



総合的な学習の支援「三崎の自然に親しもう」



総合的な学習の支援
「さき織り体験」

事業を実施して

【成果】

- 学校と地域の方々の関係がより身近になり、地域の絆づくりに役立っている。
- 地域の方々の力を活かし学校教育の充実を図る支援ができた。

【課題】

- 学校の要望に対応できるボランティアの確保。
- 統合が進み、学校(子どもたち)と地域の方々の距離が遠くなっており、この活動を活かし交流の場を増やしていきたい。

松野中学校区学校支援地域本部 【松野町】

～地域で育てよう 森の国まつのの子どもたち～

◆活動の目的・理念

- 学校・地域・家庭が三位一体となり、森の国まつのの子どもたちにより良い教育活動を実践できるよう各世代で考え、実践する。
- 学校では、今、何が必要不可欠か、要望は何かを皆が考え、実践する。

学校支援本部の取組概要

<地域コーディネーターの活動>

- 各小学校を訪問し、活動内容について検討する。
- ボランティアとの連絡調整をし、日時、内容等を決定する。

<主なボランティア活動の内容>

- 登下校の安全確保…年数回程度実施
- 環境整備奉仕作業…学校周辺の草刈り、枝木の剪定、遊具のペンキ塗りを実施
- 部活動指導…中学校の部活動指導を松野町体育協会・卒業生が実施
- 学校行事への参画…運動会、文化祭等の準備運営に協力

<特色ある活動>



地域の方・保育園児といっしょに、さつま芋の苗植え(1・2年生、保育所)



赤十字奉仕団の方といっしょに、手つなぎボランティアとして、通学路の清掃活動(全校児童)

事業を実施して

【成果】

- 幅広い世代にボランティアとして協力していただいている。
- 各活動に対して協力体制ができている。
- 高齢者も学校に関わる時間が増えてきている。

【課題】

- 現在は1名でのコーディネーターで各学校を回り、連絡調整を図っているが、1名での活動では、限界があるため、複数体制での連絡調整が図れるような取組みの実施に努めたい。
- さらなるボランティア数の増加を図り、学校への協力体制の整備に努めたい。

日吉小・中学校区学校支援地域本部 【鬼北町】

～地域とともにある学校づくり～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てていく環境を整え、よりよい教育活動を提供する。
- 地域について学ぶことによって、豊かな人間性を育み、郷土を愛し、誇りを持つ子どもたちを育てていく。
- 地域の人材を積極的に活用することで、地域の教育力の向上と、地域の活性化を図る。

学校支援本部の取組概要

<地域コーディネーターの活動>

- 学校と支援者との連絡・調整
- 新規ボランティアの開拓、啓発活動

<主なボランティア活動の内容>

- 学習支援
郷土学における講師、技術科における講師、読み聞かせ会の実施等。
- 部活支援
スポーツ少年団(小学生)、部活動(中学生)での指導。
- 安全支援
登下校時、一緒に歩いてくださったり、危険箇所に立ってくださったりしている。
- 環境支援
校内樹木の剪定、草刈り、草引き、空き缶・空き瓶の回収・運搬等。
- 学校行事への参画
運動会準備・後片付け、研究会での駐車場案内・整理等。



読み聞かせ会



空き缶回収・運搬

<特色ある活動>



郷土学における講師



公民館とタイアップした技術科の授業

事業を実施して

【成果】

- 地域の方の指導により、充実した教育活動を行うことができた。
- 子どもたちが地域社会の一員としての自覚を深め、地域の行事等に積極的に参加するようになった。
- 地域の方にとって、学校がより身近な存在となった。

【課題】

- まだまだ住民の認知度が低く、更なる啓発を行っていかなければならない。
- 学習支援においては、教員とボランティアとの綿密な打ち合わせが必要なため、負担感が大きい。

城辺中学校区学校支援地域本部 【愛南町】

～地域で育てよう 愛南の子どもたち～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が三位一体となってよりよい教育活動を創造する。
- 実りのある連携の具体化を目指す。
- 学校を応援し、地域の子どもたちと一緒に活動に取り組む。

学校支援本部の取組概要

<地域コーディネーターの活動>

- 学校、地域、公民館の年間行事を照らし合わせ、学校の要望を調整し、学校支援ボランティアへの連絡・調整を行う。
- 広報・啓発活動・・・公民館報や学校だより、町広報誌を利用し、広報・啓発活動を行う。
- 学校との連絡・調整・・・関係団体との連携・協力については、公民館活動を実施するうえで、地域の関係団体等と常に連携・協力の立場にあり、学校支援事業においても相互の協力はできている。

<主なボランティア活動の内容>

- 登下校の安全確保
登下校時の巡視、通学路危険箇所の確認及び周知と改善
- 校内環境整備への協力
庭木の剪定・除草、側溝清掃
- 学校支援
学習支援活動、部活動指導補助
- 学校行事への参画
体育祭・運動会の参加協力、郷土料理の継承・お菓子作り、地域伝統文化の継承
- 地域活動と一体化した連携
夏祭り、秋祭り、地域の伝統イベント時の巡視活動(声かけ)



御荘夏まつり巡視活動の様子

<特色ある活動>

愛南町では、全国に先駆けて、魚に関する知識や環境問題、郷土料理について関心を高め、魚を積極的に食べようとする「ぎょしょく教育」に取り組んでいる。城辺中学校区学校支援地域本部においても、水産業関係者の協力を得て、毎年継続して学習を行っている。学習方法としては、座学(映像を使って、針や餌などを見せて行う学習)、体験学習(模擬一本釣り、多数の魚を触る学習)、現地見学(市場や養殖場に行き見学する)、調理実習(魚を使った料理を行う)等をそれぞれの学校の要望に合わせて実施している。



久良小学校ぎょしょく教育：まき網体験

事業を実施して

【成果】

- 「ぎょしょく教育」など、児童・生徒の興味がわくような様々な活動を行っており、地域の一次産業である漁業に対する関心を高め、地域住民と子どもたちのつながりが密接になっている。
- 学校行事等の支援ボランティア活動により、学校に対する意識が変わり、地域力が高まってきた。

【課題】

- 学校のニーズに合わせた支援活動の展開を目標としてきたが、コーディネーターや対象としている学校にはそれぞれの考え方があり、まだ完全には軌道に乗っていない。
- 学校のニーズにあった支援活動を行い地域を活性化させ、子どもたちの健全育成につなげていく。